



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月2日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営管理室長 (氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	428,515	30.5	65,322	270.2	68,954	283.6	46,031	293.0
2021年3月期第2四半期	328,466	△17.1	17,643	△56.3	17,974	△57.1	11,713	△56.3

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 52,923百万円(270.2%) 2021年3月期第2四半期 14,294百万円(△44.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	144.68	144.59
2021年3月期第2四半期	36.48	36.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,021,375	704,043	64.2
2021年3月期	982,776	661,679	62.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 656,020百万円 2021年3月期 615,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	28.00	—	32.00	60.00
2022年3月期	—	30.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	890,000	21.4	116,000	32.1	121,000	27.2	80,000	26.4	251.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	325,080,956株	2021年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	6,871,508株	2021年3月期	6,934,001株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	318,169,068株	2021年3月期2Q	321,124,711株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、添付資料の4ページをご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11
3. 補足情報	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)のわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症が大きな影響を及ぼしました。輸出や設備投資の増加を背景に景気持ち直しの動きは続いているものの、ワクチン接種が進む中でも感染再拡大への懸念から社会・経済活動は制限され、依然として先行き不透明な状況が続きました。世界経済についても、ワクチン接種が進展する先進国を中心に経済活動の制限が段階的に緩和され需要が回復基調にあるものの、感染症拡大の波が断続的に訪れ、本格的な経済活動の再開に向けては未だ予断を許さない状況が続いております。

このような情勢下、当社グループの連結業績については、売上高は、ナフサ等の原燃料価格及び海外製品市況の上昇による販売価格の上昇に加え、需要の回復による販売数量の増加により、4,285億円と前年同期に比べ1,000億円(30.5%)の増収となりました。営業利益は、販売価格の上昇が原燃料高の影響を上回ることによって交易条件が改善し、653億円と前年同期に比べ477億円(270.2%)の増益となりました。経常利益は、690億円と前年同期に比べ510億円(283.6%)の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純損益については、460億円と前年同期に比べ343億円(293.0%)の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

石油化学事業

プロピレン及びキュメンは、非定修年による生産量の増加に伴い出荷が増加いたしました。また、ナフサ等の原燃料価格及び海外製品市況の上昇により、製品価格が上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、需要の回復に伴い国内輸出ともに出荷が増加いたしました。また、ナフサ価格及び海外市況の上昇を反映して製品価格が上昇いたしました。クロロプレンゴムは、需要の回復に伴いアジア向けを中心に輸出が増加いたしました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ323億円(58.2%)増加し877億円となり、営業損益は、幅広い製品の出荷増加に加え、ナフサ等原料価格上昇による製品受払差の改善により、前年同期に比べ91億円増加し86億円の営業利益となりました。

クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、生産量の減少に伴い出荷が減少いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、いずれも生産量の減少に伴い出荷が減少いたしました。ナフサ価格及び海外市況の上昇を反映し、塩ビ製品の製品価格は上昇いたしました。

セメントは、国内輸出ともに出荷が堅調に推移いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、前期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により稼働を停止していた中国の生産子会社が順調に稼働したことや需要の回復に伴い、国内輸出ともに出荷が増加いたしました。また、海外市況の上昇を反映し製品価格が上昇いたしました。ヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)系硬化剤は、需要の回復に伴い国内輸出ともに出荷が増加いたしました。また、海外市況の上昇を反映し製品価格が上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ410億円(34.5%)増加し1,601億円となり、営業利益は、塩ビ製品やウレタン原料の交易条件の改善により、前年同期に比べ272億円増加し281億円となりました。

機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、需要の回復に伴い国内輸出ともに出荷が増加いたしました。また、海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。

計測関連商品は、欧米及び中国向けに液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加いたしました。診断関連商品は、需要の回復に伴い国内、欧米及びアジア向けに体外診断用医薬品の出荷が増加いたしました。

ハイシリカゼオライトは、需要の回復に伴い自動車排ガス触媒用途を中心に国内輸出ともに出荷が増加いたしました。ジルコニアは、需要の回復に伴い歯科材料用途の輸出が増加いたしました。石英ガラスは、半導体需要の拡大に伴い出荷が増加いたしました。電解二酸化マンガンは、乾電池用途を中心に出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ233億円（26.8%）増加し1,100億円となり、営業利益は、主に需要の回復による販売数量増加の影響により、前年同期に比べ109億円（96.5%）増加し222億円となりました。

エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業

水処理エンジニアリング事業は、電子産業分野を中心に受注した国内外の大型案件の工事が順調に進捗したことから、売上高が増加いたしました。

建設子会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ49億円（10.3%）増加し528億円となり、営業利益は前年同期に比べ5億円（11.8%）増加し50億円となりました。

そ の 他 事 業

商社等その他事業会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ14億円（7.5%）減少し180億円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ0億円（1.4%）増加し14億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前期末に比べ386億円増加し1兆214億円となりました。

負債は、長期借入金の減少等により、前期末に比べ38億円減少し3,173億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ424億円増加し7,040億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた国内外の経済は、ワクチン接種の進展とそれに伴う経済・社会活動制限の緩和により回復し、本格的な景気回復局面を迎えることが期待されております。一方、足元では半導体をはじめ世界的な供給網の混乱、原油・石炭などの資源価格の高騰、中国の景気減速といった景気回復への逆風も懸念されるなど、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループといたしましては、国内外のコロナ禍収束状況はもとより、様々な要因により変動する原燃料価格や海外製品市況、為替レートの動向などに注意を払い、事業環境の変化に対して迅速かつ柔軟に対応し収益確保に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、2021年8月3日に公表した予想値を下記の通り修正いたしました。

なお、通期業績における下期の前提については、国産ナフサ価格を60,000円/KL、為替レートを110円/US\$としております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 820,000	百万円 106,000	百万円 109,000	百万円 71,000	円 銭 223.17
今回発表予想 (B)	890,000	116,000	121,000	80,000	251.44
増減額 (B-A)	70,000	10,000	12,000	9,000	
増減率 (%)	8.5	9.4	11.0	12.7	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	732,850	87,819	95,138	63,276	197.89

詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	149,165	136,660
受取手形及び売掛金	225,459	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	250,802
商品及び製品	95,455	105,992
仕掛品	13,638	10,473
原材料及び貯蔵品	46,471	46,047
その他	22,975	32,331
貸倒引当金	△648	△654
流動資産合計	552,517	581,652
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	111,397	118,163
土地	71,436	71,502
その他（純額）	132,632	133,026
有形固定資産合計	315,466	322,691
無形固定資産	4,673	4,843
投資その他の資産		
投資有価証券	62,576	64,216
退職給付に係る資産	27,387	28,053
その他	20,870	20,692
貸倒引当金	△715	△775
投資その他の資産合計	110,118	112,187
固定資産合計	430,258	439,722
資産合計	982,776	1,021,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,377	99,729
短期借入金	99,840	100,022
未払法人税等	23,478	20,714
引当金	10,873	13,124
その他	38,050	31,632
流動負債合計	263,620	265,224
固定負債		
長期借入金	26,685	22,432
引当金	2,843	1,078
退職給付に係る負債	20,582	21,177
その他	7,364	7,418
固定負債合計	57,476	52,107
負債合計	321,096	317,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	45,096	45,081
利益剰余金	513,338	548,983
自己株式	△10,104	△10,015
株主資本合計	603,504	639,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,750	13,638
繰延ヘッジ損益	—	△52
為替換算調整勘定	△5,852	△1,597
退職給付に係る調整累計額	5,167	4,808
その他の包括利益累計額合計	12,066	16,797
新株予約権	213	178
非支配株主持分	45,895	47,844
純資産合計	661,679	704,043
負債純資産合計	982,776	1,021,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	328,466	428,515
売上原価	254,967	302,567
売上総利益	73,499	125,948
販売費及び一般管理費	55,855	60,625
営業利益	17,643	65,322
営業外収益		
受取利息	215	160
受取配当金	865	1,150
為替差益	—	832
持分法による投資利益	547	961
その他	1,099	1,325
営業外収益合計	2,728	4,429
営業外費用		
支払利息	694	547
為替差損	1,269	—
その他	434	250
営業外費用合計	2,398	798
経常利益	17,974	68,954
特別利益		
固定資産売却益	10	110
投資有価証券売却益	2,590	147
特別利益合計	2,600	258
特別損失		
固定資産売却損	763	36
固定資産除却損	1,192	1,187
投資有価証券売却損	—	1
投資有価証券評価損	23	2
減損損失	—	0
特別損失合計	1,980	1,228
税金等調整前四半期純利益	18,594	67,983
法人税等	6,202	20,406
四半期純利益	12,392	47,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	679	1,545
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,713	46,031

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	12,392	47,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,028	828
繰延ヘッジ損益	0	△65
為替換算調整勘定	△1,135	4,762
退職給付に係る調整額	14	△331
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	153
その他の包括利益合計	1,901	5,346
四半期包括利益	14,294	52,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,672	50,762
非支配株主に係る四半期包括利益	621	2,160

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,594	67,983
減価償却費	20,012	19,946
減損損失	—	0
退職給付に係る資産負債の増減額	△225	△591
受取利息及び受取配当金	△1,081	△1,310
支払利息	694	547
為替差損益(△は益)	180	△47
持分法による投資損益(△は益)	△547	△961
投資有価証券評価損益(△は益)	23	2
固定資産売却損益(△は益)	753	△73
固定資産除却損	1,192	1,187
売上債権の増減額(△は増加)	8,647	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	—	△21,343
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,750	△6,217
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,885	5,377
その他	△11,395	△14,797
小計	30,713	49,702
利息及び配当金の受取額	1,464	1,637
利息の支払額	△645	△565
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,878	△23,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,653	27,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△26,696	△25,523
固定資産の売却による収入	836	96
投資有価証券の取得による支出	△148	△448
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,882	408
貸付けによる支出	△3,016	△1,587
貸付金の回収による収入	2,172	1,500
その他	△813	△1,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,783	△27,251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	67,765	863
長期借入れによる収入	1,610	370
長期借入金の返済による支出	△7,918	△6,183
自己株式の取得による支出	△10,034	△7
配当金の支払額	△9,051	△10,165
非支配株主への配当金の支払額	△221	△424
その他	△42	96
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,106	△15,450
現金及び現金同等物に係る換算差額	△804	2,336
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	40,172	△12,792
現金及び現金同等物の期首残高	97,235	148,397
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	316
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	137,393	135,921

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(1) 輸出取引に係る収益認識

輸出販売の一部に関して、従来は、出荷基準又は船積基準により収益を認識しておりましたが、財又はサービスを顧客に移転し当該履行義務が充足された一時点で収益を認識する方法に変更しております。

(2) 代理人取引に係る収益認識

顧客に移転する財又はサービスを支配しておらず、これらを手配するサービスのみを提供しているため、代理人取引であると判断した取引に関して、従来は、顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

(3) 買戻し義務を負っている取引に係る収益認識

買戻し義務を負っている製品販売取引に関して、顧客から買い戻すと見込まれる製品については収益を認識せず、当社が権利を得ると見込む対価の額で収益を認識する方法に変更しております。

(4) 工事契約に係る収益認識

工事契約に関して、従来は、工事の進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転する場合には、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した工事原価が、予想される工事原価の合計に占める割合に基づいて行っております。また、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができないが、発生する費用を回収することが見込まれる場合は、原価回収基準にて収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,496百万円減少し、売上原価は14,318百万円減少し、販売費及び一般管理費は341百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ163百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は240百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「売上債権の増減額(△は増加)」は、当第2四半期連結累計期間より「売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	55,411	119,018	86,736	47,892	19,408	328,466	—	328,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,357	12,589	6,121	9,823	27,794	85,687	△85,687	—
計	84,768	131,607	92,857	57,716	47,203	414,153	△85,687	328,466
セグメント利益 又は損失(△)	△492	948	11,288	4,475	1,424	17,643	—	17,643

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	87,674	160,055	110,013	52,809	17,962	428,515	—	428,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,959	19,576	7,650	8,015	28,466	113,668	△113,668	—
計	137,634	179,632	117,663	60,824	46,429	542,184	△113,668	428,515
セグメント利益	8,578	28,113	22,183	5,002	1,444	65,322	—	65,322

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。この結果、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの売上高は、「石油化学」で9,326百万円減少、「クロル・アルカリ」で4,132百万円減少、「機能商品」で86百万円減少、「エンジニアリング」で1,536百万円増加、「その他」で2,488百万円減少しております。また、セグメント利益は、「石油化学」で93百万円減少、「クロル・アルカリ」で1百万円減少、「機能商品」で125百万円増加、「エンジニアリング」で132百万円増加しております。

3. 補足情報

2021年度第2四半期連結決算概要2021年11月2日
東ソー株式会社

(1)業績

(単位:億円)

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増 減	2020年度	2021年度(予想)
売 上 高	3,285	4,285	1,000	7,329	8,900
営 業 利 益	176	653	477	878	1,160
経 常 利 益	180	690	510	951	1,210
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	117	460	343	633	800
1株当たり四半期(当期)純利益	36円48銭	144円68銭	108円20銭	197円89銭	251円44銭

(2)指標

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増 減	2020年度	2021年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	106.9	109.8	2.9	106.1	109.9
為替[TTM期中平均](円/EUR)	121.3	130.9	9.5	123.8	130.4
国産ナフサ価格(円/KL)	27,550	50,550	23,000	31,300	55,275
設 備 投 資 額	271	235	△ 36	506	510
減 価 償 却 費	185	180	△ 5	375	380
研 究 開 発 費	96	99	3	195	200
期 末 有 利 子 負 債	1,569	1,225	△ 345	1,265	890
金 融 収 支	4	8	4	4	8
自 己 資 本 比 率 (%)	61.0	64.2	3.2	62.6	65.0
期 末 従 業 員 数 (人)	13,656	14,068	412	13,631	14,100

(注)億円未満は四捨五入

(3)トピックス

- 2021年6月 クロロプレンゴム(CR)の生産能力を増強
- 2022年度冬予定 臭素の生産能力を増強

(4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	554	877	323	3	319	—	—
	営業利益	△ 5	86	91	38	—	△ 13	66
クロル・アルカリ	売上高	1,190	1,601	410	7	404	—	—
	営業利益	9	281	272	3	—	184	85
機能商品	売上高	867	1,100	233	184	49	—	—
	営業利益	113	222	109	96	—	37	△ 24
エンジニアリング	売上高	479	528	49	40	9	—	—
	営業利益	45	50	5	5	—	0	0
その他	売上高	194	180	△ 14	△ 18	3	—	—
	営業利益	14	14	0	1	—	0	0
合計	売上高	3,285	4,285	1,000	217	784	—	—
	営業利益	176	653	477	143	—	207	127

(注)億円未満は四捨五入

(5) 業績予想

(単位:億円)

		2020年度	2021年度(予想)	増 減	2021年度(予想) 内訳	
					上期	下期
石油化学	売上高	1,314	1,759	445	877	882
	営業利益	77	132	55	86	47
クロル・アルカリ	売上高	2,749	3,432	683	1,601	1,831
	営業利益	415	518	103	281	237
機能商品	売上高	1,806	2,187	381	1,100	1,087
	営業利益	235	363	128	222	141
エンジニアリング	売上高	1,062	1,171	109	528	643
	営業利益	120	120	0	50	70
その他	売上高	398	352	△ 46	180	173
	営業利益	31	26	△ 4	14	12
合計	売上高	7,329	8,900	1,571	4,285	4,615
	営業利益	878	1,160	282	653	507

(注)億円未満は四捨五入